

次世代自動車の検証（6）＜EVの所有コスト＞

いよいよ国内の軽自動車にもEV化の波が押し寄せてきたようです。8月末、日産と三菱自動車は共同開発してきた軽自動車規格の新型EVを2022年度初頭（4～5月頃）に発売するようです。20kWhのバッテリーで航続距離はWLTCモードで200kmだそうです。実走行に近いEPAモードでは150km程度でしょうか。それでも、現在の軽自動車の主用途である「お買い物」、「ちょっとお出かけ」の街乗りでは十分な性能といえます。しかも、補助金を使うと実質190万円台で買えそうですので、トータルコストは軽の高グレードガソリン車とほとんど変わらなくなりそうです。自宅での普通充電設備が必要となりますが、これも補助金が利用できます。いずれにせよ、セカンドカーとしての魅力は十分発揮しそうです。

充電インフラが未整備な現在の状況でも、自宅充電だけで「EVでお買い物」を完結できる軽EVは、日本のEV市場をけん引してゆく存在になるかもしれません。

なお、日産のEVを国内EVの代表例として挙げてみれば、軽のEV（日産サクラ？）、ファミリーカーのEV（日産リーフ）、プレミアムSUVのEV（日産アリア）とEVライナップがそろってきたこととなります。



日産サクラ（新型軽EV）



日産リーフ



日産アリア

アリアはすでに予約注文を受け付けています。さらに、トヨタとSUBARUは共同開発したクロスオーバーSUV「bZ4X」、「SOLTERRA」を来年半ば以降に全世界で発売予定であり、日本のメーカーもいよいよ本腰を入れてEVの生産に乗り出そうとしています。



トヨタ・bZ4X



スバル・SOLTERRA

（注）本稿では引き続き、国内の刊行物、ウェブ情報などの採用頻度からハイブリッド車はHV、プラグインハイブリッド車はPHEV（トヨタはPHV）、純電気自動車はEVと記述いたします

[EVの所有コスト-1] シミュレーションの前提条件

前記のようにEVが身近な自動車だと思えるようになってきた昨今、遠くない時期にEVの購入を計画しているか、そうでなくともEVと他の車種との所有コストの比較に興味がある読者もいらっしゃるかと思います。そこで、本項では環境車としての価値・評価は別として、今、EVを購入すると財布にどのくらい負担がかかるかシミュレーションをしてみました。概算ですが、EVと他の電動車(HV/PHEV)との「年1万km走行で10年間」のトータルコストを比較してみましたので参考にしてください。

<補助金> *巻末の図表を参照

EV、充電設備の補助金はEVの性能、国の申請機関、申請時期、自治体の制度などによって異なりますが、政府が2021年度補正予算で購入補助250億円を計上し、2022年春に受付を開始する内容としました。本稿ではEV/PHVは総額50~80万円、普通充電器は(3kW:5万円、6kW:10万円)としました。

<電費/燃費のモード>

EVの電費(電力消費率)、ガソリン車の燃費は公表データが多いWLTCモードを計算に使用しました。

<電力料金>

自宅の普通充電器で夜間電力(東京電力:夜トク8)21.2円/kWhを利用して充電する前提で計算しました。なお、非常用電源となるV2H充電設備および充電スポットでの急速充電は考慮していません。

<ガソリン価格>

比較対象のHV(ガソリン車)のガソリン価格は上昇中ですが、2021年11月16日現在のレギュラーガソリン全国平均価格165.5円/L、ハイオクガソリン価格176.5円/Lを基準としました。

<自動車税、自動車重量税、環境性能割>

自動車税は車種によるグリーン化特例減税(2023年3月31日までの新規登録車の登録翌年度の自動車税が減税)を、自動車重量税は車種によるエコカー減税(2023年4月30日までの新規登録車の車検ごとの減税)を含んでいます。ただし、自動車重量税は1年単位で計算しました。また、自動車税の計算の関係上(月割りをなくすため)、EVおよび比較各車の購入(登録)月は3月としました。なお、環境性能割(旧:自動車取得税)は本稿対象車すべて0円でしたので、計算には入れてありません。

<その他>

10年間の車検費用、定期検査費用、各種自動車保険等は含めていません。比較する車種はスズキアルト以外はHVまたはPHV(PHEV)のエントリーモデルか比較的安価で人気のある車種としました。

PHVは10年間で8,000kmをHV、2,000kmをEVとして使用することを前提としました。

[EVの所有コスト-2] 日産新型軽EVと他社軽自動車・コンパクトHVとの比較 (by NeoMag)

■軽EV、軽ガソリン車、コンパクトHVの購入初期費用

- (1) 新型軽EV(バッテリー容量20kWh)の販売価格:240万円(推定) / 購入時補助金50万円(推定)
住宅用3kW充電器:15万円(ただし、住宅事情によって異なる) / 購入時補助金5万円
- (2) 軽ガソリン車スズキアルトS 2WDの販売価格:110万円
- (3) 軽HVスズキワゴンRスマイルS 2WDの販売価格:147万円
- (4) トヨタ・ヤリスHYBRID X 2WDの販売価格:200万円



日産新型軽EV



スズキアルト S



スズキワゴン R HV



トヨタ・ヤリス HV X

■軽EV、軽ガソリン車、コンパクトHVの推定電費・燃費

(1) 新型軽EV (バッテリー容量 20kWh) の推定 WLTC 電費 : 7.5km/kWh

$10,000\text{km} / 7.5\text{km/kWh} = 1,333\text{kWh}$ $1,333\text{kWh} \times 21.2 \text{円/kWh} = 28,260 \text{円/年}$ (282,600円/10年)

(2) 軽ガソリン車スズキアルト S の WLTC 燃費 : 25.8km/L

$10,000 \text{ km} / 25.8\text{km/L} = 387.6\text{L}$ $387.6\text{L} \times 165.5 \text{円/L} = 64,148 \text{円/年}$ (641,480円/10年)

(3) 軽HV スズキワゴンR スマイル S 2WD の WLTC 燃費 : 23.9km/L

$10,000 \text{ km} / 23.9\text{km/L} = 418.4\text{L}$ $418.4\text{L} \times 165.5 \text{円/L} = 69,245 \text{円/年}$ (692,450円/10年)

(4) トヨタ・ヤリス HYBRID X 2WD の WLTC 燃費 : 36.0km/L

$10,000 \text{ km} / 36.0\text{km/L} = 277.8\text{L}$ $277.8\text{L} \times 165.5 \text{円/L} = 45,976 \text{円/年}$ (459,760円/10年)

■軽EV、軽ガソリン車、コンパクトHVの自動車税

(1) 新型軽EV (バッテリー容量 20kWh)

自動車税 : グリーン化特例 (推定) で購入翌年度 2,800円、その他 10,800円/年 (100,000円/10年)

自動車重量税 : エコカー減税 (推定) で5年目まで0円、その後 2,500円/年 (12,500円/10年)

(2) 軽ガソリン車スズキアルト S 2WD :

自動車税 : グリーン化特例対象外 10,800円/年 (108,000円/10年)

自動車重量税 : エコカー減税で3年目まで0円、その後 2,500円/年 (17,500円/10年)

(3) 軽HV スズキワゴンR スマイル S 2WD

自動車税 : グリーン化特例対象外 10,800円/年 (108,000円/10年)

自動車重量税 : エコカー減税で3年目まで0円、その後 2,500円/年 (17,500円/10年)

(4) トヨタ・ヤリス HYBRID X 2WD

自動車税 : グリーン化特例対象外で 30,500円/年 (305,000円/10年)

自動車重量税 : エコカー減税で5年目まで0円、その後 7,500円/年 (37,500円/10年)

●軽EV、軽ガソリン車、軽HV、コンパクトHVのトータルコスト (円/10年間)

	車種	販売価格	充電器	補助金	電費/燃費	自動車税	重量税	総コスト
(1)	日産新型軽EV (20kWh)	2,400,000	150,000	-550,000	282,600	100,000	12,500	2,395,100
(2)	スズキアルト S ガソリン	1,100,000	0	0	641,680	108,000	17,500	1,867,180
(3)	スズキスマイル S HV	1,470,000	0	0	692,450	108,000	17,500	2,287,950
(4)	ヤリス HV X 2WD	2,000,000	0	0	459,760	305,000	37,500	2,802,260

*補助金はEV+充電器の合計

●考察

来年の春受付の軽EVの政府補助金が50万円になりそうです。これにより、軽ガソリン車に対してはともかく、軽HV車や軽上級グレード車がプランに入っていれば、軽EVも10年間のトータルコストはまったく遜色ないこととなります。さらに、コンパクトHVに対しては断然有利になりますから、軽EVも選択肢の一つとして来年の発売を待っても良いかもしれません。

[EVの所有コスト-3] 日産リーフとトヨタHVとの比較 (by NeoMag)

■日産リーフとトヨタHVの購入初期費用

- (1) 日産リーフ S (バッテリー容量 40kWh) の販売価格 : 333 万円 / 購入時補助金 80 万円
住宅用 6kW 充電器 : 20 万円 (ただし、住宅事情によって異なる) / 購入時補助金 10 万円
- (2) 日産リーフ e+ X (バッテリー容量 62kWh) の販売価格 : 442 万円 / 購入時補助金 80 万円
住宅用 6kW 充電器 : 20 万円 (ただし、住宅事情によって異なる) / 購入時補助金 10 万円
- (3) トヨタ・プリウス HV S 2WD の販売価格 : 273 万円
- (4) トヨタ・プリウス PHV S 2WD の販売価格 : 338 万円、補助金 : PHV50 万円、3kW 充電器 5 万円
- (5) トヨタ・カムリ X 2WD の販売価格 : 349 万円



日産リーフ/リーフ e+



プリウス HV S



プリウス PHV S



カムリ HV X

■日産リーフとトヨタHVの電費・燃費

- (1) 日産リーフ S (バッテリー容量 40kWh) の WLTC 電費 : 6.45km/kWh
 $10,000\text{km} / 6.45\text{km/kWh} = 1,550\text{kWh}$ $1,550\text{kWh} \times 21.2 \text{円/kWh} = 32,860 \text{円/年}$ (328,600 円/10 年)
- (2) 日産リーフ e+ X (バッテリー容量 62kWh) の WLTC 電費 : 6.21km/kWh
 $10,000\text{km} / 6.21\text{km/kWh} = 1,610\text{kWh}$ $1,610\text{kWh} \times 21.2 \text{円/kWh} = 34,132 \text{円/年}$ (341,320 円/10 年)
- (3) トヨタ・プリウス HV S 2WD の WLTC 燃費 : 30.8km/L
 $10,000 \text{ km} / 30.8\text{km/L} = 324.7\text{L}$ $324.7\text{L} \times 165.5 \text{円/L} = 53,738 \text{円/年}$ (537,380 円/10 年)
- (4) トヨタ・プリウス PHV S 2WD の WLTC 燃費 : 30.3km/L、WLTC 電費 : 9.35km/kWh
 $8,000 \text{ km} / 30.3\text{km/L} = 264.0\text{L}$ $264.0\text{L} \times 165.5 \text{円/L} = 43,692 \text{円/年}$ (436,920 円/10 年)
 $2,000\text{km} / 9.35\text{km/kWh} = 213.9\text{kWh}$ $213.9\text{kWh} \times 21.2 \text{円/kWh} = 4,535 \text{円/年}$ (45,350 円/10 年)
- (5) トヨタ・カムリ HV X 2WD の WLTC 燃費 : 27.1km/L
 $10,000 \text{ km} / 27.1\text{km/L} = 369.0\text{L}$ $369.0\text{L} \times 165.5 \text{円/L} = 61,070 \text{円/年}$ (610,700 円/10 年)

■日産リーフとトヨタHVの自動車税、自動車重量税

- (1) 日産リーフ S (バッテリー容量 40kWh)
自動車税 : グリーン化特例で購入翌年度 6,500 円、その他 25,000 円/年 (231,500 円/10 年)
自動車重量税 : エコカー減税で 5 年目まで 0 円、その後 7,500 円/年 (37,500 円/10 年)

(2) 日産リーフ e+ X (バッテリー容量 62kWh)

自動車税： グリーン化特例で購入翌年度 6,500 円、その他 25,000 円/年 (231,500 円/10 年)

自動車重量税： エコカー減税で 5 年目まで 0 円、その後 10,000 円/年 (50,000 円/10 年)

(3) トヨタ・プリウス HV S 2WD

自動車税： グリーン化特例で購入翌年度 9,000 円、その他 36,000 円/年 (333,000 円/10 年)

自動車重量税： エコカー減税で 5 年目まで 0 円、その後 7,500 円/年 (37,500 円/10 年)

(4) トヨタ・プリウス PHV S 2WD

自動車税： グリーン化特例で購入翌年度 9,000 円、その他 36,000 円/年 (333,000 円/10 年)

自動車重量税： エコカー減税で 5 年目まで 0 円、その後 10,000 円/年 (50,000 円/10 年)

(5) トヨタ・カムリ X 2WD

自動車税： グリーン化特例対象外で 43,500 円/年 (435,000 円/10 年)

自動車重量税： エコカー減税で 3 年目まで 0 円、その後 10,000 円/年 (112,500 円/10 年)

●日産リーフとトヨタ HV の 10 年間のトータルコスト (円/10 年間)

	車種	販売価格	充電器	補助金	電費/燃費	自動車税	重量税	総コスト
(1)	リーフ S (40kWh)	3,330,000	200,000	-900,000	328,600	231,500	37,500	3,227,600
(2)	リーフ e+ X (62kWh)	4,420,000	200,000	-900,000	341,320	231,500	50,000	4,342,820
(3)	プリウス HV S 2WD	2,730,000	0	0	537,380	333,000	37,500	3,637,880
(4)	プリウス PHV S 2WD	3,380,000	150,000	-550,000	482,270	333,000	50,000	3,845,270
(5)	カムリ HV X 2WD	3,490,000	0	0	610,700	435,000	112,500	4,648,200

* 補助金はEV+充電器の合計

●考察

トヨタ・プリウス HV や PHV が購入候補であれば、リーフ S (40kWh) は十分優位なコストになります。また、カムリ HV のトータルコストを考えれば、リーフ e+ (62kWh) を購入できることになります。

<自動車税/グリーン化特例の基準>

排気量	税額	グリーン化特例対象車でおむね75%軽減した場合の税額	グリーン化特例対象車でおむね50%軽減した場合の税額
1,000cc以下	25,000円	6,500円	12,500円
1,000cc超 1,500cc以下	30,500円	8,000円	15,500円
1,500cc超 2,000cc以下	36,000円	9,000円	18,000円
2,000cc超 2,500cc以下	43,500円	11,000円	22,000円
2,500cc超 3,000cc以下	50,000円	12,500円	25,000円
3,000cc超 3,500cc以下	57,000円	14,500円	28,500円
3,500cc超 4,000cc以下	65,500円	16,500円	33,000円
4,000cc超 4,500cc以下	75,500円	19,000円	38,000円
4,500cc超 6,000cc以下	87,000円	22,000円	43,500円
6,000cc超	111,000円	27,500円	55,000円

* 四輪軽自動車: 税額10,800円(グリーン化特例対象外)

<自動車重量税/エコカー減税の基準>

2021年5月1日～2023年4月30日	初回車検	2回目車検
EV・PHEV・HV等	免税	免税
2030年度基準120%以上達成	免税	免税
2030年度基準 達成	免税	
2030年度基準90%以上達成	免税	
2030年度基準75%以上達成	50%減税	
2030年度基準60%以上達成	25%減税	
2030年度基準60%未満	エコカー減税対象外	

<自動車重量税（乗用車、3年自家用、新車新規登録等時）>

車両重量	3年自家用（新車新規登録等時）			
	◆エコカー	◆エコカー （本則税率から軽減）		◆エコカー外
		免税	50%減	
0.5t以下	0円	3,700円	5,600円	12,300円
～1t	0円	7,500円	11,200円	24,600円
～1.5t	0円	11,200円	16,800円	36,900円
～2t	0円	15,000円	22,500円	49,200円
～2.5t	0円	18,700円	28,100円	61,500円
～3t	0円	22,500円	33,700円	73,800円

<自動車重量税（乗用車、2年自家用、継続検査等時）>

車両重量	2年自家用（継続検査等時）				
	◆エコカー	◆エコカー外			
		免税	（本則税率）	右以外	
0.5t以下	0円	5,000円	8,200円	11,400円	12,600円
～1t	0円	10,000円	16,400円	22,800円	25,200円
～1.5t	0円	15,000円	24,600円	34,200円	37,800円
～2t	0円	20,000円	32,800円	45,600円	50,400円
～2.5t	0円	25,000円	41,000円	57,000円	63,000円
～3t	0円	30,000円	49,200円	68,400円	75,600円

[EVの所有コスト-4] 日産アリアとトヨタ・レクサス SUV との比較 (by NeoMag)

■日産アリアとトヨタ・レクサス SUV の購入初期費用

- 日産アリア B6 2WD（バッテリー容量 66kWh）の販売価格 539 万円／購入時補助金 80 万円
住宅用 6kW 充電器：20 万円（ただし、住宅事情によって異なる）／購入時補助金 10 万円
- 日産アリア B9limited 2WD（バッテリー容量 91kWh）の販売価格 740 万円／購入時補助金 80 万円
住宅用 6kW 充電器：20 万円（ただし、住宅事情によって異なる）／購入時補助金 10 万円
- トヨタ・ハリアー S HV 2WD の購入価格：358 万円
- トヨタ・RAV4 PHV G 4WD の購入価格：469 万円、補助金：PHV50 万円、3kW 充電器 5 万円
- レクサス UX250h HV 2WD の販売価格：433 万円
- レクサス NX350h HV 2WD の販売価格：520 万円
- レクサス RX450h HV 2WD の販売価格：638 万円



日産アリア B6/B9limited



ハリアー HV S



RAV4 PHV G



レクサス・NX350h

■日産アリアとトヨタ・レクサス SUV の電費・燃費

- (1) 日産アリア B6 2WD (バッテリー容量 66kWh) の WLTC 電費 : 6.0km/kWh
 $10,000\text{km} / 6.0\text{km/kWh} = 1,667\text{kWh}$ $1,667\text{kWh} \times 21.2 \text{円/kWh} = 35,340 \text{円/年}$ (353,400 円/10 年)
- (2) 日産アリア B9 limited 2WD (バッテリー容量 91kWh) の WLTC 電費 : 5.8km/kWh
 $10,000\text{km} / 5.8\text{km/kWh} = 1,724\text{kWh}$ $1,724\text{kWh} \times 21.2 \text{円/kWh} = 36,549 \text{円/年}$ (365,490 円/10 年)
- (3) トヨタ・ハリアー S HV 2WD の WLTC 燃費 : 22.3km/L
 $10,000 \text{ km} / 22.3\text{km/L} = 448.4\text{L}$ $448.4\text{L} \times 165.5 \text{円/L} = 74,210 \text{円/年}$ (742,100 円/10 年)
- (4) トヨタ・RAV4 PHV G 4WD の WLTC 燃費 : 22.2km/L、WLTC 電費 : 6.45km/kWh
 $8,000 \text{ km} / 22.2\text{km/L} = 360.4\text{L}$ $360.4\text{L} \times 165.5 \text{円/L} = 59,646 \text{円/年}$ (596,460 円/10 年)
 $2,000\text{km} / 6.45\text{km/kWh} = 310.1\text{kWh}$ $310.1\text{kWh} \times 21.2 \text{円/kWh} = 6,574 \text{円/年}$ (65,740 円/10 年)
- (5) レクサス UX250h HV 2WD の WLTC 燃費 : 22.8km/L
 $10,000 \text{ km} / 22.8\text{km/L} = 438.6\text{L}$ $438.6\text{L} \times 165.5 \text{円/L} = 72,588 \text{円/年}$ (725,880 円/10 年)
- (6) レクサス NX350h HV 2WD の WLTC 燃費 : 22.2km/L (ハイオク仕様)
 $10,000 \text{ km} / 22.2\text{km/L} = 450.5\text{L}$ $450.5\text{L} \times 176.5 \text{円/L} = 79,513 \text{円/年}$ (795,130 円/10 年)
- (7) レクサス RX450h HV 2WD の WLTC 燃費 : 15.3km/L (ハイオク仕様)
 $10,000 \text{ km} / 15.3\text{km/L} = 653.6\text{L}$ $653.6\text{L} \times 176.5 \text{円/L} = 115,360 \text{円/年}$ (1,153,600 円/10 年)

■日産アリアとトヨタ・レクサス SUV の自動車税、自動車重量税

- (1) 日産アリア B6 2WD (バッテリー容量 66kWh)
自動車税 : グリーン化特例で購入翌年度 6,500 円、その他 25,000 円/年 (231,500 円/10 年)
自動車重量税 : エコカー減税で 5 年目まで 0 円、その後 10,000 円/年 (50,000 円/10 年)
- (2) 日産アリア B9 limited 2WD (バッテリー容量 91kWh)
自動車税 : グリーン化特例で購入翌年度 6,500 円、その他 25,000 円/年 (231,500 円/10 年)
自動車重量税 : エコカー減税で 5 年目まで 0 円、その後 10,000 円/年 (50,000 円/10 年)
- (3) トヨタ・ハリアー S HV 2WD
自動車税 : グリーン化特例で購入翌年度 11,000 円、その他 43,500 円/年 (402,500 円/10 年)
自動車重量税 : エコカー減税で 3 年目まで 15,000 円、その後 10,000 円/年 (85,000 円/10 年)
- (4) トヨタ・RAV4 PHV G 4WD
自動車税 : グリーン化特例で購入翌年度 11,000 円、その他 43,500 円/年 (402,500 円/10 年)
自動車重量税 : エコカー減税で 5 年目まで 0 円/年、その後 10,000 円/年 (50,000 円/10 年)
- (5) レクサス UX250h HV 2WD
自動車税 : グリーン化特例で購入翌年度 9,000 円、その他 36,000 円/年 (333,000 円/10 年)
自動車重量税 : エコカー減税で 3 年目まで 0 円、その後 10,000 円/年 (70,000 円/10 年)
- (6) レクサス NX350h HV 2WD
自動車税 : グリーン化特例対象外で 43,500 円/年 (435,000 円/10 年)
自動車重量税 : エコカー減税で 3 年目まで 0 円、その後 10,000 円/年 (70,000 円/10 年)
- (7) レクサス RX450h HV 2WD
自動車税 : グリーン化特例で購入翌年度 14,500 円、その他 57,000 円/年 (527,500 円/10 年)
自動車重量税 : エコカー減税で 3 年目まで 0 円、その後 12,500 円/年 (87,500 円/10 年)

●日産アリアとトヨタ・レクサス SUV の 10 年間のトータルコスト（円/10 年間）

	車種	販売価格	充電器	補助金	電費/燃費	自動車税	重量税	総コスト
(1)	アリアB6 (66kWh)	5,390,000	200,000	-900,000	353,400	231,500	50,000	5,324,900
(2)	アリアB9 limited (91kWh)	7,400,000	200,000	-900,000	365,490	231,500	50,000	7,346,990
(3)	ハリアー S HV 2WD	3,580,000	0	0	742,100	402,500	85,000	4,809,600
(4)	RAV4 PHV G 4WD	4,690,000	150000	-550,000	662,200	402,500	50,000	5,404,700
(5)	レクサス UX250h HV 2WD	4,330,000	0	0	725,800	333,000	70,000	5,458,800
(6)	レクサス NX350h HV 2WD	5,200,000	0	0	795,130	435,000	70,000	6,500,130
(7)	レクサス RX450h HV 2WD	6,380,000	0	0	1,153,600	527,500	87,500	8,148,600

*補助金はEV+充電器の合計

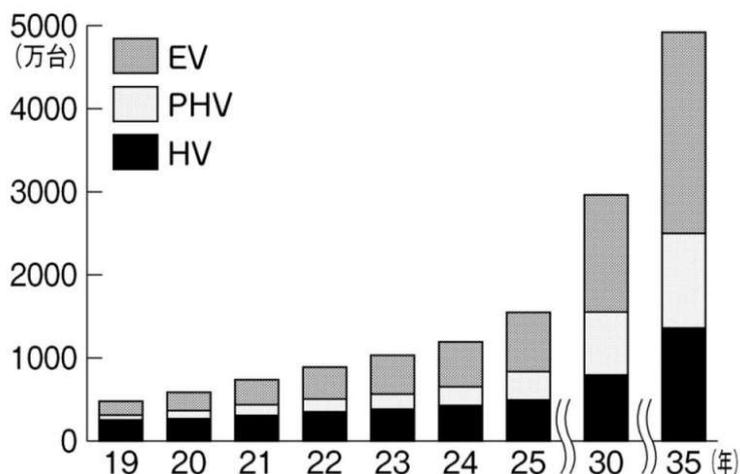
●考察

日産アリア B6(66kWh)のコストはハリアーのエントリーモデルには及びませんが、RAV4 PHV やレクサスの小型・中型 SUV には十分対抗できるコストです。また、B9 limited(91kWh)はレクサスの小型・中型 SUV に対してはコスト的には不利ですが、上級・大型 SUV よりコストは有利になります。

[EV の所有コスト-5] まとめ

今回の 10 年間のコストシミュレーションでは EV と車格が類似している他車種（主に HV/PHEV）の販売価格の差が、(1)補助金、(2)電費・燃費の差、(3)減税額の差 などによりトータルコストでみれば、大幅に縮小しているか逆転しています。それでも、まだまだ国内の充電インフラは不足していますから EV の所有には二の足を踏む読者も多いかと思えます。一方、元々EVに興味をお持ちの読者の中には、10 年間のレンジでコストを考えれば十分ペイできるのだから、今は充電の多少の不便さはあっても、所有（購入）を本格的に考えてみようという方もいらっしゃるかもしれません。

電動車(HV/PHV/EV)の世界市場見通し



富士経済のデータを基に作成。対象は乗用車。HV には簡易型のマイルドHV は含まない。20年までは実績、21年は見込み、22年以降は予測

日刊工業新聞

政府の電動車の購入支援策

	足元の支援策	新たな支援策
電気自動車	40万円	80万円
軽自動車のEV	20万円	50万円
プラグインハイブリッド車	20万円	50万円
燃料電池車	225万円	250万円

(注)金額は最大の補助額、新たな支援策は車載コンセントなどを装備した車

日本経済新聞

ただし、このシミュレーションで気を付けていただきたいのは、補助金や減税、電気料金、ガソリン価格などが現時点のまま10年間続くことを前提として計算しています。幸い、日本政府はエコカー減税を来年度から2030年度に向けてより厳しい燃費基準にするということですから、EVにとっては追い風かもしれません。また、政府は「2035年までに新車販売（乗用車）の全てを、HVを含めた電動車にする」方針を打ち出しました。しかし、HVを含めたことは、HVを電動車には含めないとしている欧米から批判されていますので、将来HVのエコカー減税は厳しくなるかもしれません。したがって、本稿の「EVとHVのトータルコスト比較」は、今後さらにEVに有利になりそうです。

（注）シミュレーションはNeoMagが各種資料を参考に行いましたが、結果は概算の相対比較ですので、あくまで参考データとしてお考え下さい。

以上今回は、EVとその他電動車（HV/PHV）のコスト比較を中心に話をさせていただきました。次回も引き続きEV関連の情報をお伝えいたします。

<参考・引用資料>

「日産&三菱が軽EVの投入を発表 “短距離・低価格”はEV普及の起爆剤となるか？」webCG 2021.09.10
<https://www.webcg.net/articles/-/45105>

「日産 新型軽自動車「サクラ」登場なるか？ 2022年度初頭？」くるまのニュース 2021.08.31
<https://kuruma-news.jp/post/417517>

「自動車重量税の税額一覧表【乗用車】令和3年5月1日～」くるなび
<https://www.kurunavi.jp/guide/juryozei.html>

「日産アリアの補助金と価格はいくら？お得な制度や値引きまで解説！」ぎぶさんの車購入ガイド
<https://cardays.net/%E8%87%AA%E5%8B%95%E8%BB%8A/ariya>

「よくわかる！EV充電の基礎知識」日東工業株式会社ホームページ
<https://www.nito.co.jp/quick/evstand/fundamental/>

「日産アリア 電費・航続距離・スペックまとめ」クルマ・バイク関連のブログ Rioblog
<https://riomeo.com/nissan-ariya-info/>

「環境性能によって税額が下がる。『エコカー減税』『環境性能割』『グリーン化特例』とは？
ソニー損保／自動車保険ガイド <https://www.sonysonpo.co.jp/auto/guide/agde096.html>

「EV世界販売台数は2035年に20年比で11倍、欧州・中国がけん引」ニュースイッチ
<https://newswitch.jp/p/27964>

「EV補助2倍の最大80万円、米欧並み水準 政府が支援」日本経済新聞電子版 2021年11月23日
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UA222Z50S1A121C2000000/>

「エコカー減税とは。対象期間はいつまで？対象車、自動車税について」チューリッヒ保険会社
<https://www.zurich.co.jp/car/useful/guide/cc-ecocar-tax-reform/>

「自動車メーカー各社ホームページ」日産自動車、トヨタ自動車、他